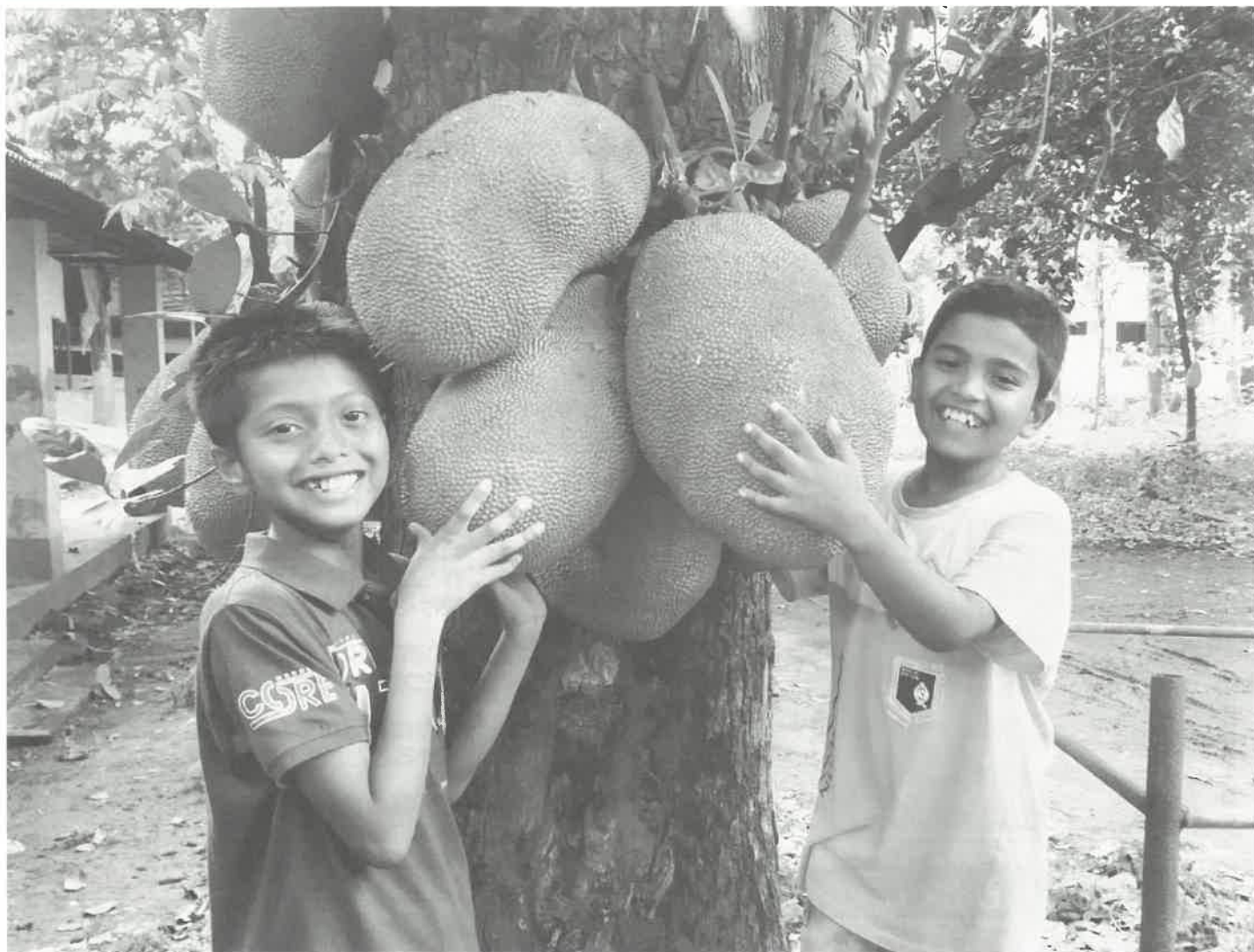


ANGEL NEWS

通巻216号
2026.07

エンゼルホームに植わっているジャックフルーツ

皆さん、ジャックフルーツってご存知ですか？バングラデシュではとても身近な果物で、国の果物にも選ばれています。地方ではあちこちに木が植えられ、未熟なうちは野菜として料理に使われ、6～8月の熟す季節になると果物として楽しまれています。一本の木に数十キロにもなる大きな実がいくつもなり、その姿は圧巻です。熟したジャックフルーツはこれぞ南国の果物と感じる甘さと、ぷりっとした弾力のある食感で食べごたえ抜群です。また、この時期にはマンゴーやライチなども旬を迎え、町のお店や露店には色とりどりの果物があふれています。

こうした豊かな食文化は、かつてこの地域の繁栄を支える大きな基盤となっていました。16世紀のムガル帝国時代、肥沃なデルタ地帯に支えられたベンガル地方は、農業や織物産業によって世界でも有数の豊かな地域でした。しかしその後、外部からの統治や独立に至る過程でのさまざまな苦難の歴史や、農業中心の経済から工業化・輸出産業への転換といった産業構造の変化により、かつては最貧国の一つと呼ばれるほど厳しい状況を経験しました。

現在のバングラデシュは、繊維産業と若い労働力を中心に発展に向けて歩んでいます。その暮らしの土台には、今もなおジャックフルーツやマンゴー、そして豊富なお米といった食の恵みがあります。人々の暮らしを支え、前に進む力を与えてくれる、バングラデシュの国民的果物ジャックフルーツ。機会があれば、ぜひ一度食べてみてください。

事務局長 東村 良平



手芸ボランティアの活動

本協会のボランティアセンターでは、日々さまざまなボランティア活動が行われています。その一つに手芸活動があります。「自分にできることで、バングラデシュのこども達を支えたい」そんな思いを持った方々が集まり、それぞれの得意な手仕事を生かして活動しています。バッグや人形、編み物、縫い物による小物づくりなど、一つひとつの作品を丁寧に仕上げられています。

手芸室はいつも和やかで笑顔が絶えず、作品づくりを通じて人と人とのつながりも深まっています。おしゃべりを楽しみながらもしっかりと丁寧に手を動かされており、こうして生まれた作品はチャリティバザーなどで販売、その売り上げはバングラデシュのこども達への支援へとつながっています。このように、自分の趣味や特技を生かしながら誰かの役に立てることが、やりがいや喜びにつながっています。



ボランティアセンターの手芸室にて

手芸室では、毎日のようにボランティアの方が集まり作品作りに取り組んでいます



気さくな仲間と会話を楽しみながら作品づくりに取り組む時間が楽しく、続けることができています。



以前に習い事で身につけた経験が生かされ、誰かの支援につながっていることがうれしいです。



体力に自信のない私でも、無理なく続けることができています。



お雛様や五月人形、クリスマスなど、季節ごとの行事に合わせて年間の予定を立て、楽しく作品づくりに取り組んでいます。

自宅でも

ボランティアセンターに来られない方も家で手作りしたエプロンやカバン、レースの編物、フェルトで作った小物など送って下します。



私の家でみんなでおしゃべりながら楽しく作品作りをしています。それがこども達の支援になっていることがうれしいです。

こうして手作りされた手芸品は「チャリティバザー」や「楽しいボランティアひろば」などで販売されています



心を込めて作られた手芸品の数々



ドアストッパー



ハワイアンキルトのバッグ

その他にも…

年に数回、障がい者施設を訪問し、施設で行われている手芸サークルのお手伝いをしています。



作品が完成すると利用者さん達がとても喜んでくださるので、私達もその笑顔を楽しみに訪問しています。



バングラデシュの手芸品 ノクシカタ

バングラデシュの伝統工芸「ノクシカタ刺しゅう」。かつて農村の女性達は古い布を重ねて一針ずつ手縫いし、家族への贈り物や大切な嫁入り道具として母から娘へ受け継いできました。しかし時代の移り変わりやライフスタイルの変化に伴い、そうした家庭内での温かい手仕事の文化は徐々に失われつつあります。

バングラデシュの農村部では「女性は家を守るもの」という意識が強く、現金収入を持たない女性達の立場は弱いものでした。こうした状況に対し、現地では文化保存と女性支援を兼ねて、政府系団体による刺しゅうの仕事づくりと製品化が進められてきました。当協会においても農村女性の自立を支える一環として、彼女達へ刺しゅうの内職を提供し、製品化したバッグやポーチなどを取り扱ってきました。

近年、バングラデシュでは社会の価値観が変化し、女性の社会進出が進んでいます。外資系縫製工場の進出などにより選択肢が増え、女性達の稼ぎも増え、社会的な女性の地位も向上してきました。一方で、時間と根気のいる刺しゅうを刺す女性は減少の一途をたどっております。女性達の地位が向上し生活が豊かになることは喜ばしいことですが、それと同時に古い伝統や手仕事のぬくもりが失われていくのは、どこか寂しくもあります。

かつてに比べると品数や種類は限られてしまっていますが、当協会では現在もノクシカタ刺しゅう製品を取り扱っております。ぜひお手にとって、農村の女性達が一针一针丁寧に刺したノクシカタ刺しゅうの魅力を、そしてバングラデシュの歴史と文化を感じてみてください。



国際エンゼル協会のノクシカタ刺しゅう製品のご案内

タウン
バッグ
(小)



軽くて持ちやすく普段使いからお出かけまで活躍！

ベスト



一枚ベストを重ねるだけで雰囲気も華やかに

手さげ
バッグ
(3)



華やかな刺しゅうが施され上品な存在感のあるバッグ

二連
ポーチ



通帳やカード類がすっきり整理できるフラット型のポーチです

丸底
ポーチ



折たたみ傘や500mlのペットボトルがすっぽり入り持ち運びに便利

プチプレゼントやちょっとしたお返しなどにも是非ご活用ください。

●その他にも各種製品を取り揃えておりますので詳細について事務所までお問合せ下さい

2026年活動スローガン 「がんばろう 笑顔に出会うボランティア」



報 告

2026年4月～6月支援分

〈バングラデシュ〉

●活動・イベント

- ・YURIKOエンゼルスクールでバングラデシュの旧正月を祝うイベントを行いました（4/14）
- ・バングラデシュ全土でSSC試験が始まりました（4/21～）
- ・YURIKOエンゼルスクールで国民的詩人達の生誕を記念し、生徒達が朗読・音楽・ダンスでお祝いしました（5/21）
- ・エンゼルホームでダッカ日本人学校の生徒達と交流会を行いました（6/4）

●寄付

- ・手作りボランティアサークル「ドンノバ」様よりエンゼルホーム講堂にイスを70脚とカパシア郡の小学校に図書272冊
- ・大阪 I ソンクラブ様よりエンゼルホーム女子寮にスチールラック3台
- ・仲島正教様よりYURIKOエンゼルスクールに図書180冊
- ・会員有志の方よりカパシア郡の中学校に図書180冊
- ・朝田花様よりカマルタリ公立小学校へ図書180冊
- ・NPO法人アミティバングラデシュ様よりエンゼルホーム運営費（200万円）寄付
- ・有志の方よりエンゼルホーム・ホーム外支援の子ども達にノートパソコン2台

〈国内活動〉

- 6月7日にボランティアセンターで「楽しいボランティアひろば」を開催しました。活動紹介や手芸品、ノクシカタ刺しゅう製品の展示販売、その他にも様々なワークショップや模擬店などがあり、子どもから大人まで一日楽しく過ごしました。



- あおぞら食堂「エンゼル」（こども食堂）への寄付

- ・伊丹市公設市場より食材購入費用（16,000円）寄付
- ・オリックス宮内財団よりこども食堂運営費（130,000円）と冷凍庫（50,000円）を助成いただきました

イベント情報

10/21 (水)

秋のチャリティバザー

場所：本協会ボランティアセンター（伊丹市）
時間：10:00～14:00

*日時・内容等都合により変更となる場合がございますので、ホームページなどでご確認をお願いいたします。

編集後記

「これまでお世話になった皆さんに日本で恩返しをしたい」。今、日本の会社で働いているエンゼルホームの卒業生達が休日になるとやってきて、バザーのお手伝いをしてれています。すっかり大人になり体つきも立派になりましたが、小さかった頃の無邪気な笑顔は今も変わりません。多くの方々からの愛情と支えを受けて成長した彼ら、今度は自分達がバングラデシュの子ども達を支えていきたいと頑張っている姿がとても頼もしく感じます。

2026年 行事予定

7月現在

7月	25日(土)	チャリティバザー	木津市場	大阪市
	25日(土)	チャリティバザー	道の駅よかわ	三木市
9月	4日(金)～11日(金)	スタディツアー	バングラデシュ	
	6日(日)	チャリティバザー	であい市門戸厄神	西宮市
10月	21日(水)	秋のチャリティバザー	本協会ボランティアセンター	伊丹市

※行事予定はホームページ上にも掲載、随時更新しています。

会員募集

本協会の活動は皆さまの会費の他、募金や寄付金、バザーなどのチャリティイベントの収益金によって支えられています。ご協力をお願いいたします。

●正会員

一般会員 年額1口 6,000円
特別会員 年額1口30,000円

●DCEF会員(教育里親)

1ヵ月1口 2,000円

※送金方法は現金書留又は郵便振替でお送り下さい。
郵便自動払込方法も受付けています。

郵便振替・口座番号
01130-1-59586

※その他、バザー用物資によるご協力もよろしくお願いします。

会員数：一般会員 563名
DCEF会員 486名
(7月1日現在)

国際エンゼル協会は1982年伊丹市において設立され、「世界に愛を」をスローガンに、発展途上国への理解と協力を通して国際間の友好を深めると共に、すべての人々が共存できる平和な世界の実現に寄与することを目的としています。

発行者



認定特定非営利活動法人

国際エンゼル協会

〒664-0862 兵庫県伊丹市若菱町6丁目10番地
TEL.072(784)7504 FAX.072(784)4608
Home Page ● <http://www.angel-ngo.gr.jp>
e-mail ● post@angel-ngo.gr.jp



ホームページ